

岩手よもつと
元気になれ!

(財)いわて産業振興センター広報誌

Vol.

77

産業情報 いわて



CLOSEUP
岩手力!

有限会社ジーエフ・トップ 支援企業紹介

募集

平成20年度合同商談会・北上会場 参加企業募集
イオン盛岡南SC「結いの市」試験販売希望者募集

報告

青森県南・岩手県盛岡以北地区ものづくり企業合同交流会
北上川流域ものづくり魅力発信フェスタ
第12回 機械要素技術展共同出展

お知らせ

先行技術調査支援事業のご紹介
設備貸与制度のご案内

いわて知的財産権セミナー2008開催のご案内
毎月勤労統計調査特別調査について

GLOSEUP

岩手力!

支援企業紹介

有限会社ジーエフ・トップ



フライス盤による切削加工。精度の高い作業を行うには熟練技が必要とされる。同社では、若い熟練工の育成にも力を入れている。

ミクロン公差の高精度加工技術で
最高品質の製品づくりに挑む
精密金型のパーツメーカー

主力は精密プラスチック 金型部品

同社の営業品目は、超精密金型用の各種部品と超精密機械用の各種部品などだ。なかでも中心は、前者におけるプラスチック金型用の超精密パーツ。電子機械のコネクター関係、自動車機器のハーネス関係、超極細の注射針などの医療機器関係、複写機内の機構部品などに使われる超精密プラスチック部品などの製造を支えるプラスチック用金型のパーツを製作・製造している。

後藤辰男社長は、「弊社が受注しているのは、ほとんどが特注品。おなじみのお客様が各地におりまして、そこから図面がファックスで流れてきて、それに対して見積もりを含めて回答。それでオーケーになれば、すぐに加工に入るというスタイル」と、製品の特徴と受注の流れを説明する。

現在の主要取引先には、特注品の金型部

品では業界トップクラスのシェアを持つパンチ工業を始めとして、ミヤノ、エレック北上、ナカヤマ精密などがあり、さらにインターネットや業界内のクチコミによる全国各地からの注文も相当な数にのぼるといふ。

高精度・高品質を追求

同社は単品注文にも対応し、短納期、低価格で、高度な加工技術を駆使した高い品質の製品づくりを常に追求してきた。設立は1992年3月。建設機械・重機械メーカーの小松製作所に入社して「ものづくり」の世界に入った後藤社長は、その後、金型業界を含めてさまざまな職業を経験。40歳のときに現在の会社を興した。後藤社長は、「現在もそうですが、他社さんか嫌がる仕事、面倒くさがる仕事、追加加工などをどんどん引き受けてきた」と話す。

最新機器の導入など、設備投資では、いわて産業振興センター（当時は、岩手県中小企業振興公社）の「設備貸与制度」を活用した。センターが機械や設備を購入して低利で割賦販売またはリースをする公的制度だ。

◀最新のNC設備。「数値を正確に入力してセットすれば機械が自動的にやってくれるが、小ロット生産なので、製品ごとに数値をセットする段取りは大切です」（後藤社長）



金ヶ崎町のジーエフ・トップは、超精密プラスチック金型を中心に各種精密金型の部品製作と製造を行っている。また、マシニング・センター（数値制御工作機械）、NC旋盤などの最先端産業機械に用いられる精密な各種パーツも製作・製造。ミクロン公差の高精度加工技術で、最高の品質を備えた製品づくりに挑んでいる。



顕微鏡を使つての砥石の成形。その砥石を使つて微妙で微細な研磨をおこなう。

当初の営業活動も、センターが主催する「受発注商談会」に出席して自社のアピールをして仕事を確保したという。

最近では、人材育成などのために、センターのさまざまなプログラムを活用し、みずからも積極的に参加している。

若手社員の意識変化に期待

2006年からはセンターの助言もあり、毎年6月に東京ビッグサイトで開催される「機械要素技術展」に参加してきた。これは機械要素、加工技術を一堂に集めた日本最大の専門技術展で、今年は全国から1625社が出展し8万7679名が来場した。

「弊社は、3年連続で出展してきました。他社さんの技術を見ることができて刺激や勉強になるし、商談も20社以上と新しく成立した。行き帰りの新幹線で一緒になる業界の人もいて、一杯飲みながら営業の話もできる。一石二鳥でした」

「機械要素技術展」には、若い社員も数人参加した。意欲的に他社のブースをのぞき、

他社の技術を研究・吸収しようとする姿が見られた。後藤社長は「この仕事は、やっぱり最後は技術力。もっと自分の技術を高めたい、会社を良くしていきたいといった意識の高い社員をいかに育てていくかが勝負だ」と話す。

センターではカイゼン能力の高い意欲的な人材育成を支援するために「いわてものづくりアカデミー」を開催している。同社ではこれまでも若手社員を参加させてきたが、今年は社員側から「参加したい」という声があがり「5S活動（整理・整頓・掃除・清潔・しつけ）」の研修に参加する若手社員が出てきた。後藤社長は「やらされるのではなく、自分からやりたいというのが大きい」と、若手社員たちの間に起きてきたムーブメントに期待を寄せている。

▼1200度まで温度をあげることができる熱処理用の釜。熱処理の手法によって強度や硬度を高めたり、または内部をやわらかくして外側だけ硬くするなど、いろいろと材料の性質を変化させることができる。「弊社の心臓部の一つですね。若手社員には『材料と熱処理を覚えたら、これからは楽だよ』と言っている」（後藤社長）



■後藤辰男社長／1952年2月、金ケ崎町生まれ。社会に出て最初に勤務した小松製作所で工具の名前や用途などの基本から学び、ものづくりのスタートを切る。その後、整備士、プレス加工業、建設会社、金型製造業などを経験。1992年3月に創業し社長就任。趣味はゴルフ。「つい先日、上海に行ってきたが、技術を極め、技術を発揮していけば日本でもやっていると感じた」



▼精密旋盤による円筒研磨の様子。経験と熟練の技術が必要な作業で「材料の中心軸と平行に、きちっとまっすぐに研磨していくには、材料の性質もよく知っていないとだめ」（後藤社長）

企業概要

- 創 業 1992年3月25日
- 代 表 者 後藤辰男
- 所 在 地 [本社工場] 金ケ崎町西根改断14番地3
- 電 話 0197-44-5193
- 資 本 金 700万円
- 従業員数 68人
(本社・工場63人、古川工場5人)
- 事業内容
精密プラスチック金型の部品（電子機械のコネクター関係機構、弱電用のスイッチ・ケース関係機構、自動車機器のハーネス関係機構、複写機・OD機器関係の機構の部品）、超精密機械部品（IC・プリント基板専用機械用、特殊測定機器用、工作機械用、特殊自動機器用、治工具ゲージ等）、一般精密部品
- 主要取引先
パンチ工業(株)、(株)ミヤノ、(株)エレック北上、ナカヤマ精密(株)など

URL
<http://www.gftop.co.jp/>

今月の表紙／(有)ジー・エフ・トップの若手社員。左から高橋英明さん(32)、十字信さん(24)、阿部伸也さん(31)、及川綾さん(28)、村上大悟さん(32)。「1000分の1ミリ台の精度が求められる仕事で大変ですが、図面通りに正確できれいなものができるときはうれしいですね」（高橋さん）



平成20年度 合同商談会 北上会場参加企業募集

センターでは毎年、取引拡大をめざす県内外の受・発注企業の皆様が、一堂に会して商談及び相互交流を行う場を提供しております。本年度は下記のとおり開催の予定ですので、今後の新規取引開拓、情報収集、人的ネットワーク形成のためにも積極的に参加されますようご案内いたします。



期 日

平成20年 **10月23日** (木)

スケジュール

11:30~12:40	受 付
12:40~13:00	開 会／商談方法説明
13:00~17:30	受発注企業による面接商談
17:40~19:30	懇親会

会 場

ホテルシティプラザ北上
(北上市川岸1-14-1 TEL0197-64-0001)

参加対象

県内外のセンター登録企業等
(casting, iron casting, mechanical processing, sheet metal, press, resin, surface treatment, electronic equipment, metal material companies, etc.)

定 員

発注企業 **50**社 受注企業 **150**社

参加料

商談会	5,000 円 (1名)
懇親会	6,000 円 (1名)

※商談会、懇親会とも発注企業として参加の場合は無料

申込方法

参加申込書(センターホームページよりダウンロード可能)に必要事項を記入のうえ、下記の申込先へFAX、同時に参加料該当額を参加料振込先へお振込みください。

なお、商談会当日の参加申込は、受付致しかねますのでご了承願います。

※参加申込をされた場合は、必ずセンターに受付確認の電話をお願いします。

申込先

財いわて産業振興センター 育成支援グループ
TEL 019-631-3822
FAX 019-631-3830
〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2

参加料振込先

東北銀行本店 普通預金口座 No 234155
口座名義 (財)いわて産業振興センター



昨年度の合同商談会開催風景

●申込締切

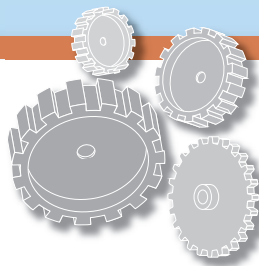
平成20年 **9月12日** (金)

※申込締切日にかかわらず、定員になり次第締切とさせていただきます。

◆商談会参加者で会場ホテルへの宿泊を希望される方は、各自事前に直接ホテルへ申込願います。申込の際「商談会参加者」である旨、申し出ると『特別価格1泊朝食付7,140円』で宿泊できます。

お問い合わせ先

財いわて産業振興センター
育成支援グループ 取引支援担当
TEL.019-631-3822 FAX.019-631-3830
E-mail : sitauke@joho-iwate.or.jp



盛況！青森県南地区・岩手県盛岡以北地区 ものづくり企業合同交流会

平成20年6月27日(金)に二戸市において「青森県南地区・岩手県盛岡以北地区ものづくり企業合同交流会」を二戸地方振興局、青森県、財団法人21あおり産業総合支援センターと開催しました。

当センターは昨年二戸サテライトを開所するなど県北地域の産業振興に取り組んできましたが、特にものづくり産業の振興には、青森県南地区・盛岡地区の企業との受発注の活性化が不可欠と考えます。

そのため、両地区のものづくり企業との経済的交流を活性化させるための第1ステップとして、互いに企業概要を知り合いかつ親睦を深める場を提供するために開催したものです。

当日は、地域での核企業であるアルバック東北(株)、(株)共立、エプソンアトミックス(株)、美和ロック(株)、多摩川精機(株)、盛岡東京電波(株)一戸工場の6社が企業紹介のプレゼンを行い、引き続き、参加企業46社61名の紹介が行われました。

第2部の懇親会では、県北地方の郷土芸能「ナニヤドヤラ」が披露され会場が盛り上がり、名刺交換、訪問予約など参加者同士の交流が広く見られました。

当センターは、今後、当日のアンケート調査を元に核企業の見学会、取引あっせん等のフォローを行っていきます。



北上川流域ものづくり 魅力発信フェスタ 盛況裡に終了！



去る7月4日(金)、5日(土)に奥州市江刺区の江刺中央体育館を会場として「北上川流域ものづくり魅力発信フェスタ」を、「奥州工業まつり」と併せて開催いたしました。

心配された雨も開会して間もなくあがり、会期2日間での来場者は延べ6,000名を数え、大盛況のうちに終了することができました。

北上川流域ものづくり魅力発信フェスタは「企業展示」と「企業PRプレゼン“ものづくり魅力発信発表会”」を主軸とし、県内の高校生を中心とした若者が、身近なものづくり企業の魅力を感じ、「岩手県に就職したい」という意欲を高めることを目的として開催しました。

企業展示は50社が出展し、高校生を中心とした若者及び地域の方々に企業の魅力を様々な切り口からPRしました。4日(金)は高校生の熱心に展示を見学する姿が見受けられ、5日(土)はお子様連れのファミリー層を中心に大変な賑わいを見せました。

来場者からは「色々な企業について知れて良かった。先輩方は皆若いのに立派に働いていて偉いしカッコいいと思った。(見学・高校生)」「岩手にも頑張っている企業が沢山あるんだと思った。今回の体験を通じて将来について選択する幅が広がった。(見学・高校生)」「業務内容に興味を持ってくれた高校生と直接話が出来たので良かった。(出展企業)」といったご意見・感想が寄せられております。

「企業PRプレゼン“ものづくり魅力発信発表会”」では県内の企業18社の若手社員が、同年代である若者求職者に対し、若者の目線で自社の魅力を発信しました。参加した高校生等約1,500人の前でのプレゼンというプレッシャーの中、各社若者を引き付けるオリジナリティー溢れる内容でフレッシュなプレゼンテーションを行いました。

発表者の熱意溢れるプレゼンテーションによって、参加している皆さんは真剣にうなずいたり、時には楽しそうに笑顔で発表を聴いたり、心に響くものがあったようです。今回のイベントを通じて、より多くの若者が県内のものづくり企業に興味を持ち、就職先の候補として考えていただけることを期待いたします。



見つけよう! 発信しよう! いわての知財!

先行技術調査支援事業のご紹介

自社で開発した技術の特許権により保護することは重要なことですが、既に他社によって権利化されている可能性が考えられます。研究開発にかかる経費や時間、労力を無駄にしないためにも事前に先行技術調査を行うことは非常に重要です。

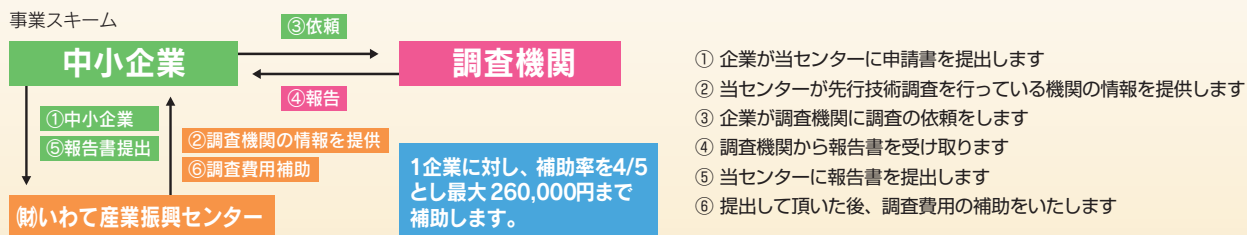
当センターでは、先行技術調査にかかる支援を下記の内容により実施いたしますので、是非ご利用ください。

支援内容 ● 本事業では、先行技術調査に要する費用について、1企業に対し年1回のみ利用、補助率を4/5とし、最大260,000円まで補助いたします。申請の手順については下記スキームの手順を想定しております。

※本事業は、先行技術調査実施による知財戦略の構築を目的としている為、申請書・報告書には知財戦略を記入していただき、その内容により支援の可否を判断いたします。

対象企業 ● 岩手県内に事業所があり、中小企業支援法第2条に規定する中小企業者

事業スキーム



お問い合わせ・お申し込み先

（財）いわて産業振興センター 新事業・研究開発支援グループ 担当/佐々木 TEL.019-631-3827
 ホームページURL <http://www.joho-iwate.or.jp/>（ホームページから申請書のダウンロードが可能です）

いわて知的財産権セミナー 2008開催のご案内

知的財産の普及及び知的財産の保護と活用を促進するため、昨年に引き続き「いわて知的財産権セミナー」を開催します。受講料は無料です。

お問い合わせ・お申し込み先

（財）いわて産業振興センター TEL 019-631-3827 / 岩手県工業技術センター TEL.019-635-1115

講座名	対象者	講師	内容(予定)	場所	開催時期	講義時間
経営者コース	知財経営総論① ～知財経営の必要性と実践に向けて～	経営者、創業者、実務者、県・市町村・商工団体・農林水産団体等職員	弁理士・経営者 【弁理士】 ・知財経営とは何か ・知財経営の必要性とそのメリット ・経営戦略と知財活用・共同研究による知財活用 【県内企業経営者】 ・県内企業における知的財産の活用事例紹介	工業技術センター大ホール	9月19日	13:30 ～ 16:30
	知財経営総論② ～知財活用と知的資産経営の基礎知識～		弁理士等 【弁理士】 ・知財の評価 ・公的支援を利用した知財活用の事例紹介 【未定】 ・知的資産経営の取り組みについて		10月3日	
中級コース	商標のトラブルを防ぐために～日本・中国でのブランド戦略の留意点～	経営者・研究開発者・実務者	弁理士 ・商標制度概要 ・商標の権利の及ぶ範囲 ・中国でのブランド確保の留意点 ・最近の判例事例 【演習有り】	工業技術センター小ホール	10月17日	13:30 ～ 17:00
	特許明細書作成～強い明細書作成を目指して～		弁理士 ・明細書の役割 ・審査基準 ・弁理士とのコミュニケーション 【演習有り】		10月31日	
特許情報活用コース	演習(初級)	初級者	中嶋特許情報活用支援	県内各地	未定	未定
	演習(中級)	IPDL経験者	アドバイザー		盛岡近郊	未定

第12回機械要素技術展共同出展報告

平成20年6月25日(水)から27日(金)の3日間、東京都のビッグサイトで開催された機械要素と機械材料・加工技術などの主要企業が一堂に集結する、第12回「機械要素技術展」へ岩手の企業の共同出展小間として8小間を確保し、県内企業8社が出展しました。

この展示会は日本最大級の集客力を誇り、製造業の設計技術者、研究開発者、生産技術者、購買・資材担当者など多数の来場者があり、今回は3日間で延べ87,679人(25日 25,770人、26日 28,713人、27日 33,196人)の来場者を数え、会場のいたるところで名刺交換や具体的商談が行われていました。

また全体で約1,600社の出展があり、出展者同志のいわゆるBtoBでの商談も数多く見られました。

岩手県からは8企業の参加を得て、自社の製品、技術等を工夫を凝らして展示しており、具体的商談を行う場面も数多く見られ、出展者の皆様は出展してかなりの手応えを感じているようでした。

いわて産業振興センターとして今年で3年目の出展でしたが、毎年度出展された企業の皆様の取引成約率が高いことから、平成21年度も今年度と同規模の出展を予定しております。

[出展に興味がありましたらTEL.019-631-3824までお問い合わせください。](tel:019-631-3824)

出展企業一覧(順不同)

会社名
(有)ジーエフ・トップ
(株)ベスト
(株)小林精機
盛岡セイコー工業(株)
(株)環境保全サービス
和同産業(株)
(株)千田精密工業
(株)マイクロトップ グループ



設備貸与制度のご案内

中小企業の方が導入する機械設備を、当センターが購入し、長期・低利で割賦販売する制度です

割 賦

貸付額	100～10,000万円
貸付期間	最長10年返済
利 率	年利2.3%(固定)
担 保	無担保・保証協会の保証不要

リース

設備額	100～6,000万円
リース期間	5年又は7年
リース料(月額)	5年リース 設備額の1.860% 7年リース 設備額の1.382%

機械設備、運搬用車両、建設機械などの購入を検討されている方！
借入利息、割賦販売額、リース料の比較検討をお願いします！
電話をいただければ、返済額を試算した資料をお送りいたします！

明日のために、
いま始めよう！



お問い合わせ先

(財)いわて産業振興センター
総務・金融グループ TEL.019-631-3821

イオン盛岡南ショッピングセンター「結いの市」での 試験販売希望者募集

中小企業や生産者等が、新商品の販路開拓やマーケティング力の強化を図るために実施する試験販売の場所を提供いたします。

場 所

イオン盛岡南ショッピングセンター
(盛岡市本宮字稲荷10-1)

「結いの市」チャレンジスペース

※結いの市では、新鮮野菜、三陸の海産物、県内の加工食品を中心に販売しています

試験販売の期間

試験販売の期間は、原則として1週間以内とします。
(平成21年2月末まで)

対象者

試験販売を実施できる方は、次の方です。

- ・中小企業支援法第2条に規定する中小企業者
 - ・県内において創業しようとする個人及びグループ等
 - ・その他、生産者等当センターが適当と認める者
- なお、前項の方であっても、公序良俗等の観点から当センターが適当でないと認められる場合は対象としません。



チャレンジショップの様子



いわて活菜横丁「結いの市」

費 用

会場使用料等は無料ですが、販売手数料は販売額の15%となります。

試験販売の申込み

試験販売を希望する中小企業や生産者等は、申込書を当センターに提出していただけます。

実施の決定

申込みに基づき、「結いの市」を管理している社団法人遠野ふるさと公社と日程、内容等を調整のうえ、当センターが決定し連絡いたします。

お問い合わせ

総合支援グループ 担当/中村 TEL 019-631-3826

毎月勤労統計調査特別調査についてのごお願い

厚生労働省では、本年7月31日現在で、常用労働者を1人から4人雇用している事業所を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を実施します。

この調査は、1~4人規模事業所における賃金、労働時間及び労働者数の動向を都道府県別に明らかにするなどの目的をもつ大切な調査です。

調査対象となる事業所には、8月から9月にかけて統計調査員が訪問して調査票を作成いたします。

調査票に書かれた事柄は、「統計法」により、厳しく秘密が守られます。また、統計以外の目的に用いられることは禁じられています。

ご多忙のことは存じますが、調査へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

厚生労働省



わかりやすいとは

新事業・研究開発支援グループリーダー
山本 忠

二度に渡る地震で被害に遭われた皆様方にお見舞いを申し上げます。また、自然の奥深さを改めて感じております。

夏になるころには、今年度の各種の公募事業の結果がほぼわかってきます。国等への事業申請の管理法人としての取り組みの中で、うまく説明する手伝いが出来たのかどうか気がなる日々が続きます。また、当センターが国や県からの委託を受けて実施する事業の結果が出る時期でもあります。こちらは、事務局として審査する方に申請の趣旨が伝わる資料を準備できたのか心配です。そして、審査する側に立つこともあり、審査する難しさも感じる場合があります。

こうした申請でのわかりやすい書類は、申請する方を支援する人がおり、仲間での検討が十分に行われていて、一人の思い込みによるわかり難さが払拭されているような気がします。とは言いつものの、わかりやすく説明することは、私自身も取り組まなければならない課題で、現実には反省しなければならない点ばかりですが、声をかけていただけるようにしたいと思っています。